



平城宮跡歴史公園(奈良県)



うめきた2期完成予想イメージ(大阪府)



大阪第6合同庁舎完成予想パース(大阪府)

まちづくり

安心・安全・快適なまちづくりへ自治体を支援

土地区画整理事業や都市再開発事業を主に担当し、まちづくりを計画している自治体を支援しています。自治体から相談を受ける際に専門的な知識を求められる場面があり、分からないことに直面することが多くあります。上司や先輩にアドバイスを求めたり、調べたりすることによりスキルアップすることができ、より良いまちづくりに貢献できることを嬉しく感じます。

新しく道路やまちがつくられると人や交通の流れが変わり、まちが少しずつ変化します。その過程を見ると、この仕事に関わることができて良かったと実感します。まちづくりは完成ではなく、そこから始まり。安心・安全で快適な暮らしを将来にわたり提供していくために、自治体と一緒により良いまちづくり計画を考えていきたいと思っています。

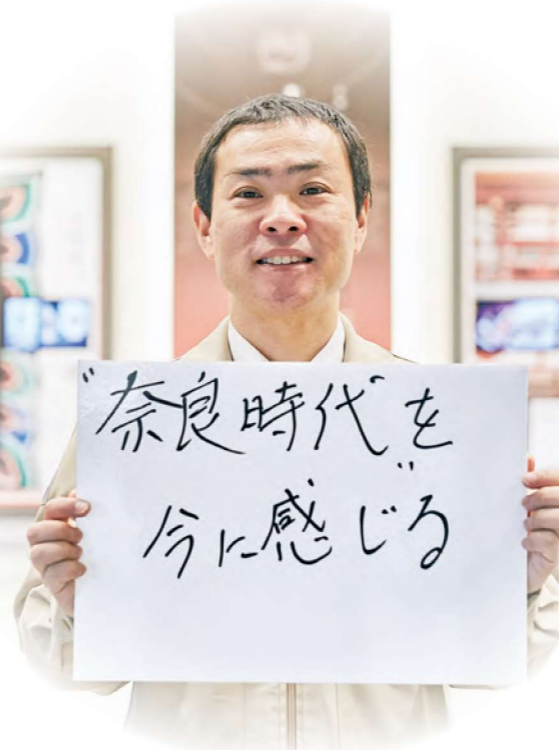


平成29年度入省
水野 千恵
建政部 都市整備課 市街地係長
土木

公園

歴史と自然豊かな国営公園を守り、活用する

飛鳥の豊かな自然と文化的遺産の保護、活用を図る「国営飛鳥歴史公園」。世界遺産「古都奈良の文化財」の構成資産の一つでもある「平城宮跡歴史公園」。2つの国営公園の維持管理と、公園利用者の利便性向上のための調査・計画に携わっています。「平城宮歴史公園」では、第一次大極殿南門の復元整備を進めています。また「平城宮跡歴史公園スマートチャレンジ」として自動運転車などの新技術を活用した国営公園初の社会実験にも取り組み、公園のさらなる魅力向上を目指しています。行政機関、研究機関、民間事業者などの調整に苦労しましたが、奈良時代の歴史を感じられる空間で近未来の自動運転車が走る姿が早く実現するのを楽しみにしています。



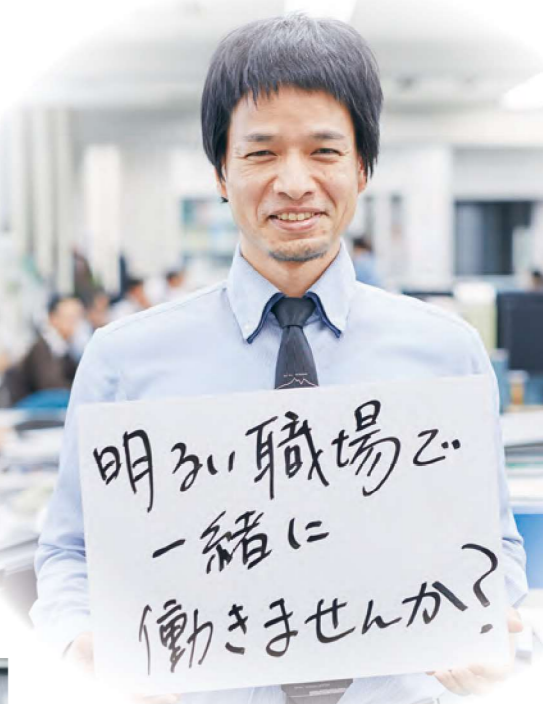
平成5年度入省
堀井 壮夫
国営飛鳥歴史公園事務所
調査設計課 調査設計係長
土木



公共建築

安全でコストに優れた官庁施設の構造を設計

官庁施設の建築設計のうち、構造設計を担当しています。新築や改修の設計をするにあたって、求める性能や方針を決定し、設計内容について関係法令や各種基準類、当初設定した性能などの整合性を確認するため、専門的な知識を求められる仕事です。建物の安全性は費用をかければ高めることができますが建物の用途、立地等のさまざまな条件からコストと安全性のバランスをとりながら計画する必要があります。さらにコストに影響する意匠性や施工性などの幅広い知識と経験が必要です。「行政職員として幅広い知識はもちろん、得意な分野をつくることで仕事の幅と深みが増す」とある人から言われた言葉を胸に日々精進しています。

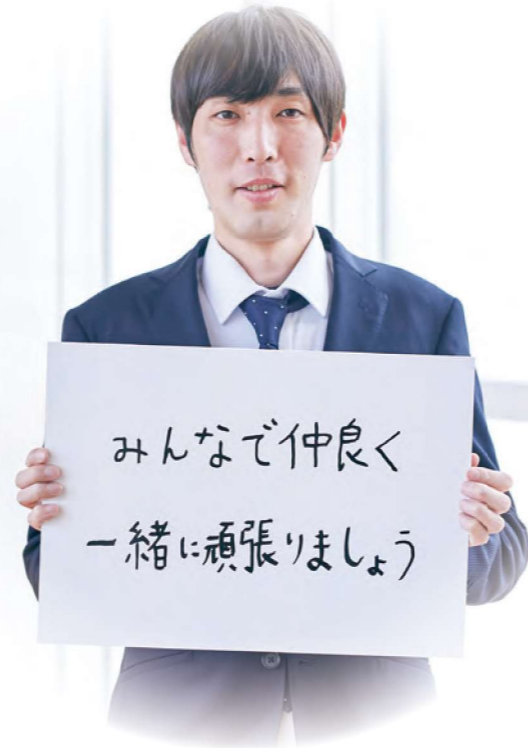


平成15年度入省
新谷 仁志
営繕部 整備課 構造係長
建築

電気

安全・安心を確保する 電気通信施設を管理

主に国道や河川の管理に必要となる電気通信施設や情報通信システム等の整備計画の立案、工事・業務の発注、施工監督、設備の保守管理を担当しています。また、災害時には被災状況を把握するために様々な機器を活用して現地映像の収集や通信・電気系のインフラ確保等も行っています。これらの業務を行う上で大切だと感じる事は、各部署からのニーズを理解し、適切に対応する事。それと技術的・基準的な面やその他調整要素を踏まえてどのように進めるかを決める判断力です。また、新技術を活用した「i-construction」や働き方改革といった施策が推進されるなか、新しい技術を活用し職場全体の業務軽減や利便性・快適性を改善しようとする際に電気通信職として提案や実際の整備ができる事にやりがいを感じます。



平成22年入省
小谷 周平
奈良国道事務所 管理第二課 電気通信係長
Ⓜ 電気

機械

新技術をデータベース化し、 公共工事への活用を促進

国土交通省では、民間企業などで開発された新技術をまとめたNETISというデータベースを構築し、公共工事での積極的な活用を推進しています。優れた技術を活用することで工事の品質が向上し、活用した技術の評価を行うことでさらなる技術の改良・開発につながる、技術利用者と技術開発者の双方がWin-Winの関係になる仕組みです。

民間企業の方から技術開発の話がうかがうことが多く、めまぐるしい技術進歩に驚かされます。少し前では考えられなかったことが可能になり、建設現場でもICT技術を積極的に導入しています。今後もどのような新技術がでてくるか楽しみで、現場のニーズを把握し、技術開発のための仲介役を担えればと考えています。



平成14年度入省
砂田 千佳
企画部 施工企画課 技術評価係長
Ⓜ 機械



総務

職員の業務を事務面、 環境面からバックアップ

職員が円滑に業務を進められるように、庁舎・宿舍の管理、車両の運行管理、給与事務、職員の健康管理、勤務時間の整理、文書整理など多岐にわたる業務で支えています。現場の最前線で活躍する部署ではありませんが、どの業務も職員全員に関わるもの。事務所全体の流れをつかむことが必要で、全ての部署とコミュニケーションをとり、奈良国道事務所が実施する事業全体を知ることができるのが面白く、業務の課題を解決して前に進めていくことにやりがいを感じます。

電話応対も重要な業務で、国道168号十津川道路開通式典の準備・運営に携わった際は、地域の方々から直接感謝の気持ちを受け取り、地域に役立つ事業に関わる喜びを味わいました。



平成19年度入省
林 和毅
奈良国道事務所
総務課 総務係長
Ⓜ 行政



契約

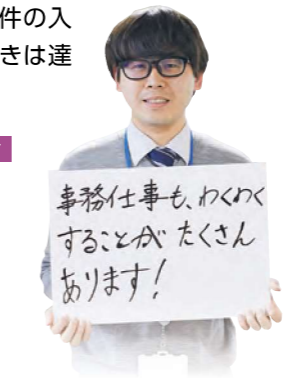
法令に従い、 ミスなく入札・契約を遂行

建設工事やコンサルタント業務などの入札・契約に関わる業務を行っています。入札・契約の手続きにあたっては、発注者の恣意性によることなく、会計法などの法令に従って公平・公正に行う必要があります。関連する法令の知識を使い、ミスなく行うことを大切にしています。業者の方から質問を受けることも多く、契約履行に関して何度もやりとりし、最後にお礼の言葉をいただいたときは率直にうれしいと感じました。

国土交通省の建設工事は、国の組織の中でも特に大きな金額の入札・契約を行うことが多く、なかには数十億円の場合もあります。社会的に大きな恩恵を与える案件の入札手続を終え、契約締結に至ったときは達成感を得られました。



平成28年度入省
柏原 駿也
総務部 契約課
契約第一係
Ⓜ 行政



経理

予算に従い 事業を行えるように支える

経理係では、事務所の予算管理、支払い手続の審査事務、予算を次年度に繰り越すため繰越事務、道路占用料などのお金を国に納めていただく歳入事務の4つの業務を主に行っています。事務所で契約した案件について全て目を通すことになり、現在どのような工事や業務が行われ、今後どのように進んでいくのかを把握でき、面白さを感じます。予算に従って事業を適切に行うためにはちょっとしたミスも許されません。細かいところも疎かにしないように心がけています。

国土交通省の仕事は「地図に残る仕事」とよく言われます。経理係は現場で工事をするわけではありませんが、予算執行という観点から携わっていることを実感できるのが魅力です。



令和元年度入省
小濱 靖子
福井河川国道事務所
経理課 経理係
Ⓜ 行政



建設産業

不動産の鑑定・評価に 関わる事務を担当

不動産鑑定士となる資格を有する者が不動産鑑定士となるためには、国土交通省に備える不動産鑑定士名簿に登録を受けなければなりません。鑑定評価指導係では、それらの登録事務や不動産鑑定業者等の監督事務をはじめ、地価公示など土地に関する業務に携わっています。土地の専門家である不動産鑑定士や、一般の方から問合せを受けることもあり日々緊張の毎日ですが、近畿地方整備局の中ではこの係でしかやっていない特殊な仕事であり、やりがいを感じています。不動産価格に影響を与える社会の状況にも関心を持つようになり、これまでとは少し違った観点で物を見るようになり、とても面白みのある仕事だと感じています。



平成13年度入省
北村 英子
建設部
建設産業第二課
鑑定評価指導係長
Ⓜ 行政

